

K.G. WEEKLY NEWS

■発行日 2015.9.29 No.823

■発行 関西学院広報室

■西宮市上ヶ原一番町1-155

TEL 0798-54-6017

駐日ドイツ連邦共和国大使 講演会

～国際学部主催～

国際学部は、国際的なビジネス・市民社会で活躍できる人材の養成を目指し、各界の第一線で活躍する方々を招き、連続講演会を開催している。

10月13日には、ハンス・カール・フォン・ヴェアテルン駐日ドイツ連邦共和国大使が「ドイツ再統一から25年－ドイツと欧州の立ち位置とは」をテーマに講演する。

※一般参加可、申し込み不要、無料。
※使用言語は英語、通訳なし。

■日時：10月13日(火)
13時30分～15時

■場所：西宮上ヶ原キャンパス
図書館ホール

■問い合わせ：国際学部事務局
TEL 0798-54-6072



大学博物館平常展

「Gift for the Future 関西学院のあゆみ」

－新制中学部の誕生と草創期(1947.4～1953.3)－

関西学院大学博物館では、太平洋戦争終結の翌々年1947(昭和22)年に発足した関西学院の新制中学部の誕生の経緯と草創期に関する展覧会を開催している。発足時の様子を現代に伝えたいという卒業生たちの熱い思いから企画された。

旧高等部(旧中学部)校舎で学んだ第1期～4期生の卒業生有志が声をかけあって収集した当時の思い出が詰まる貴重な資料を展示しています。

新制中学部の教育の原点となる、あゆみの一歩をご覧ください。

※一般参加可、申し込み不要、入館無料。

■開催期間：7月27日(月)～10月10日(土)
※日曜休館

■場所：西宮上ヶ原キャンパス
大学博物館(時計台2階)

■開館時間：9時30分～16時30分
(入館は16時まで)

■問い合わせ：関西学院大学博物館
TEL 0798-54-6054



次号 10月5日(月)発行予定

淡水魚「カマツカ」の遺伝子で新発見！！

富永教諭が新種発見をめざし研究中



関西学院高等部の富永 浩史教諭(理科)は、北海道と沖縄を除く日本各地の河川などに広く生息する淡水魚であるカマツカ(コイ科)を調査し、遺伝子が別種レベルに異なる3系統が存在することを日本で初めて発見した。7月、日本魚類学会英文誌「Ichthyological Research」に論文が掲載された。

研究はカマツカの分布域全域約200地点から約1,200匹を採集し、ヒレから採取したDNAを調査した。3系統のうち2系統が主として西日

本に、残り1系統が東日本に分布することを発見。

3つの系統は日本列島が大陸とつながっていた太

古の時代から、交配することなく別々のタイミングで分布を広げたと推定した。

次のステップは、発見した新系統のカマツカの形の違いを客観的なデータで示し、新種の淡水魚として論文に記載すること。すでにデータはそろっており、現在は論文執筆に励んでいる。また「最終的にはカマツカという魚類の種分化の仕組みを解明したい」と情熱を注いでいる。

富永教諭は、幼少期から大の魚好きで、関西学院高等部の生徒時代には独自に研究を重ね、淡水魚の観察記

「日本の淡水魚を訪ねて－川と魚をよむ」を出版した。その後、関西学院大理工学部を経て、京都大学大学院に進学。本格的にカマツカの研究に没頭し、全国の河川をまわった。現在も関西学院高等部の理科部顧問として生徒とともに河川をまわりフィールド調査を続けている。

